

NPO静岡県青年団連絡協議会 広報紙 たいよう 第57巻-4号 平成25年11月30日発行 発行責任者 草野 心路 編集・発行 組織部 〒420-0068静岡市葵区田町1-70-1 TEL 054-254-2006 E-mail kendan@youthnet.or.jp

フットサル、ついに優勝!!

11月8日(金)~11日(月)にかけて、東京都内で第62回全国青年大会が盛大に開催されました。静岡県からは、団体戦3連覇を狙うボウリングをはじめとする全9種目に出場してきました。

各種目の試合は、試合時間の関係もありほとんどが9日(土)に終わりましたが、男子バスケットボール及びフットサルは10日(日)まで熱闘が繰り広げられていました。結果は、写真店の部で大畑聡子さんが佳作を受賞しました。また、ボウリング女子で出場した未来への階段Cチームが3位入賞しました。そして、団体戦では未来への階段Aチームが3位となり、惜しくも3連覇を逃してしまいました。しかし、女子のハイゲームを沼尻幸子さんがもぎ取り、静岡県のボウリングのレベルの高さを改めて感じました。更に嬉しい知らせはフットサルです。近年、3位と言う悔しながらも素晴らしい成績を残してきましたが、今年は優勝候補を次々と蹴散らし、見事優勝を果たしました。

。 **受賞した写真作品** | 岡の名に恥じない試合 |

フットサルで出場した F.C.K.B のキャプテンである茂川将太さんは『サッカー王国静岡の名に恥じない試合をし、優勝して参りました。ご声援ありがとうございました。』と話し、試合直後は歓喜して、選手全員で

キャプテンを 胴上げしてい ました。



優勝した F. C. K. B の皆さん



ハイゲームを叩き出した沼尻さん(右)

今回出場できなかった方々は残念でしたが、来年、全国の舞台でオレンジ旋風を巻き起こせるよう、日々の練習に励んでください。 静岡県選手団総監督 中本将之

東日本大震災を教訓に学ぶ

「地震が来るぞ。津波が来るぞ。高台に逃げろ。」

みなさんは、東海地震がくると言われたらどのような行動をしますか。地震はいつくるか分かりませんが、東海地震は統計学的視点からも近い将来に来ると言われています。

私たち静岡県青年団連絡協議会では、東海地震に備え東日本大震災の被災地である岩手県に赴き、現地での様々な体験を通して、地域や仲間、自分について改めて考えることにより、視野の拡大・資質の向上を図り、地域で活動できる青年の養成を目的として「いわて復興スタディツアー」を10月11日(金)~14日(月)に開催しました。

岩手県陸前高田市で見た光景は、2年半前に住宅街があったとは思えないような状態で、津波の恐ろしさを肌で感じることとなりました。被災を経験した現地の人たちの体験談には衝撃を受けました。現地の方々は『地震が来たら津波が来る。』と口を揃えて言っていたことが印象的でした。

参加者を含め岩手県へ行く前の私たちは、震災を他人事のように考え、危機感が希薄だったと思います。しかし、他人事と考えることは命取りであり、もしもの時の対応が遅れる要因にもなりかねません。 震災が起こればとてつもない大惨事になると想定し、静岡県に適した防災・減災に関する知識を個人が学ぶ必要があるのではないでしょうか。

その第一歩として、家具家電に転倒・転落防止措置を施すこと、自分の地域の避難場所や避難経路を確認するなど「自分たちのできる小さなこと」から始めましょう。 組織部

藤枝(スイーツウォークラリー)

10月20日(日)藤枝市青年ネットワーク主催の「スイーツウォークラリー」を行いました。この事業は、「スイーツのまち藤枝」と呼ばれる藤枝市のスイーツを市外に広めることを目的としています。

準備段階では、お店の方々との関係を深めるため に、藤枝市内のスイーツ店を何度も往訪しました。 今回は参加者総勢 17 名で、藤枝市内を「岡部」・「藤 枝」・「駅前」の3エリアに分け、各5店舗を小グルー プにて散策しました。各店舗ではクイズに挑戦し、お 店自慢のスイーツをお土産に頂いたことで、みんなの 笑顔が輝いていました。その後、「オーストラリアン ケーキ工房」の協力をいただき、各グループのお土産 スイーツの一部を食べながら、どのスイーツ店が一番 良かったか発表し合いました。参加者の結果は、駅前 グループでは「ブラウンシュガー」、藤枝グループで は「かし善」、岡部グループでは「パティスリー・ジュ ドゥ・ミュゲ」となりました。最後に「オーストラリ アンケーキ工房」の富士山型の抹茶クグロフをいただ きました。市内のお菓子屋さんや『スイーツのまち藤 枝』推進会議の多大な協力を得て、藤枝のスイーツを 参加者のみなさんに発信することができました。

市内にはまだまだ多くのスイーツ店があります。今 後は、県や全国に「スイーツのまち藤枝」と呼ばれる よう、まず身近な県下青年へ発信していきます。

藤枝市青年ネットワーク 会長 高松 義和

川根 (大運動会)

今年で2回目の開催となり、恒例行事になりつつ ある川根町青年団大運動会。2年連続で雨という不 運にも負けず10月20日(日)に川根小学校体育館 にて盛大に開催しました。

日頃の運動不足の解消、ストレス発散と共に子供の頃のがむしゃらな気持ちを忘れないことを目的に始まったこの運動会。打上げで美味しいお酒を飲む為に青年団員みんな本気で競技に参加しました。

総勢 20 名程度の青年が紅白 2 チームに分かれ、 短距離走、綱引き、長縄跳び、コーラー気飲み、リ レーなどチーム戦と個人戦を行い、獲得したポイン トによって勝敗を競

います。

今年は最終種目の リレーで紅チームが 大逆転を果たしまし た。

この運動会を通して、 青年団のチームワー **コーラを一気飲みする様子**



青年団のチームワー **コーラを一気飲みする様子** クがより一層高まり、今後の青年団活動にもいい影響を与えると思います。

現在は青年団員のみの参加ですが、今後は地域の 人たちにも参加してもらい、この地域の風物詩にな れるように取り組みたいと考えています。

川根町青年団 団長 三浦正博

御殿場 (チャレンジ体験)

10月26日(土)~27日(日)に青少年チャレンジ体験事業「大江戸捜査網」を開催しました。 本事業は、御殿場市教育委員会から任命されている青少年活動推進委員を中心に企画運営している事業で

す。月1回行う定例会でプログラムや安全管理などを話し合い、毎年秋に小学校4年生から6年生を対象として宿泊体験を開催しています。

事業の目的は、参加者が、普段の学校生活を離れ新しく出会った仲間との交流を通し、チャレンジする気持ちを育むことができる場を提供する ことです。

今年度は、参加者 39 名・スタッフ 17 名で国立オリンピックセンターに宿泊し、複雑な都心の電車網を利用した東京見学と職人の技に触れるものづくり体験を行いました。

今後も、本事業を企画運営していくなかで、推進委員自身の成長につながるよう事業を推進していきたいと思います。



出発式の様子

御殿場市青少年活動推進委員 御殿場市社会教育課 担当 岸かおり

編集後記

今月号は終わったばかりの全国青年大会の結果をはじめ、未加盟団を含む3団体に事業の様子を掲載しています。震災のコラムは、東日本大震災をきっかけとして自分の地域を考えて欲しいと思い書いています。また、12月には宅配サンタを行う青年団体が多くあり、ほとんどの団体で毎年開催しています。継続して開催できているということは、地域に必要とされている証拠でもあるため、今後も多くの人たちと楽しく活動していきましょう。